撮影 第2章

基本的な撮影のしかた

撮影操作の流れと、基本的な撮影方法について説明します。

操作の流れ

基本的な撮影方法は、次のような流れになります。

電源を入れる

カメラの電源スイッチを押して電源を入れます。→ P.39

↓

撮影モードを選択する

撮影モード（ ・ ・ ・ ・ ）を選択します。ここでは、（静止画）で撮影します。→ P.39

↓

記録先を選択する

内蔵メモリー（IN）またはスマートメディア（CARD）を選択します。→ P.40

↓

画質モードを選択する

９種類（2048/F N E・1024/F N E・640/F N E）の画質モードから選択します。→ P.41

↓

被写体の大きさを決める

ズームレバーを操作して、被写体の大きさを決めます。→ P.42

↓

被写体の位置を確認する

ファインダーまたは液晶モニターを見て被写体の位置を確認します。→ P.43

↓

撮影する

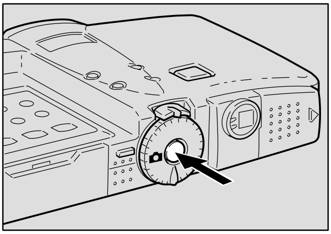
シャッターボタンを押して撮影します。→ P.44

電源を入れる

カメラの電源スイッチを操作して、電源のオン・オフを切り替えます。

❶ 液晶モニターを開き、電源スイッチを押します。

電源が入ります。
再度電源スイッチを押すと電源が切れます。



コラム

オートパワーオフについて

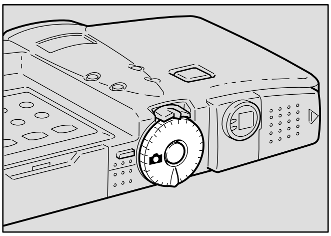
電源がオンのとき、設定された時間カメラの操作（ボタンやスイッチの操作）をしないと、節電のため「オートパワーオフ」が働き電源が切れます。再びお使いになるときは、電源を再投入してください。なお、AC アダプター使用時はオートパワーオフは機能しません。
→ P.96「オートパワーオフの設定を変更する」

撮影モードを選択する

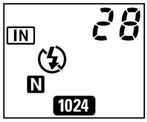
このカメラには、5 種類（📷・🎤・📄・▭・🎥）の撮影モードがあります。用途にあわせて撮影モードを切り替えてお使いください。
ここでは、📷（静止画）で撮影します。

❶ モードダイヤルを［📷］に合わせます。

参照 ・P.28「モードダイヤルの使い方」

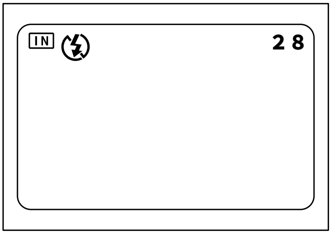


液晶パネルや液晶モニターに記録情報が表示されます。



●液晶モニターの画面表示について

液晶モニターの画面表示は、液晶モニターを開くと表示され、閉じると表示されなくなります。



補足 ・液晶モニターが見えにくいときは、LCD LIGHTボタンを押して液晶モニターの明るさを調節してください。→P.36「液晶モニタの明るさを調整する」

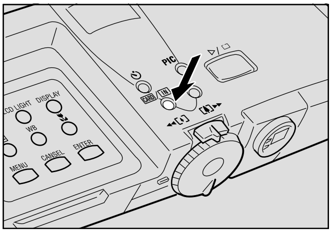
記録先を選択する

撮影したファイルの記録先を、カメラ本体の内蔵メモリーまたはセットしたスマートメディアから選択します。

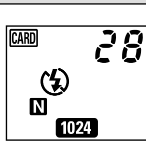
- [IN]：内蔵メモリーに記録します。
- [CARD]：スマートメディアに記録します。

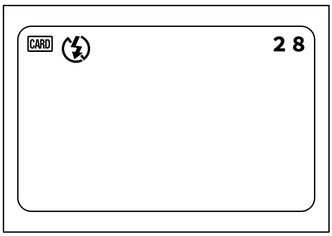
❶ [CARD]/[IN]ボタンを押して、記録先（[CARD]・[IN]）を選びます。

ボタンを押すごとに記録先が切り替わります。



選択した記録先が表示されます。





補足 ・スマートメディアがセットされていると、電源を入れたときに[CARD]が表示されます。内蔵メモリーにするときは、モード保持を設定してください。→P.95「カメラの設定内容を記憶する」

画質モードを選択する

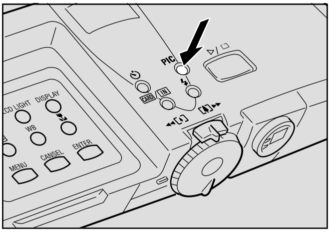
このカメラには、9種類の画質モードがあります。用途にあわせて切り替えてお使いください。

- 2048/FNE：2048 × 1536（F）、2048 × 1536（N）、2048 × 1536（E）
- 1024/FNE：1024 × 768（F）、1024 × 768（N）、1024 × 768（E）
- 640/FNE：640 × 480（F）、640 × 480（N）、640 × 480（E）

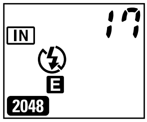
＊画質モードを切り替えると記録枚数が変わります。
＊初期設定は1024 Nです。

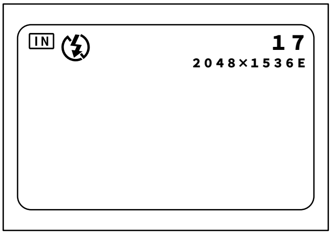
❶ PICボタンを押して、画質モードを選びます。

ボタンを押すごとに画質モードが切り替わります。



選択した画質モードが表示されます。
画質モードが設定されると、電源を切っても設定されたモードが保持されます。





●データの目安

画質（圧縮率）／サイズ（画素数）	F ファイン	N ノーマル	E エコノミー
2048　2048×1536	約1.12MB/画面	約568KB/画面	約280KB/画面
1024　1024×768	約 376KB/画面	約184KB/画面	約 88KB/画面
640　640×480	約 152KB/画面	約 72KB/画面	約 40KB/画面

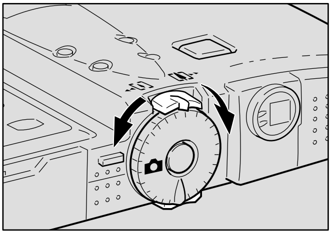
補足
- 画素数は2048 × 1536、1024 × 768、640 × 480です。本書および本製品では、画素数を2048、1024、640と表記しています。
- 画質モード別の記録可能枚数については、「記録枚数について（P.117）」をご覧ください。
- 3072×2304など、より高画質で撮影することができます。→P.68「PROモードで撮影する」

被写体の大きさを決める（ズーム）

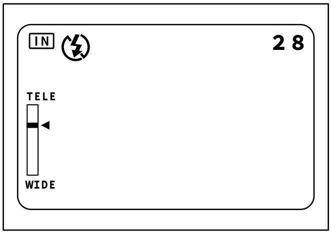
ズームレバーを操作すると、撮る人は被写体までの距離を変えずに被写体の大きさを変えることができます（35mm カメラ換算で 35 ～ 105mm）。

❶ ズームレバーを[T]側、または[W]側に押します。

[T]側に押すと被写体が大きくなり（望遠：TELE）、[W]側に押すと被写体が小さくなります（広角：WIDE）。

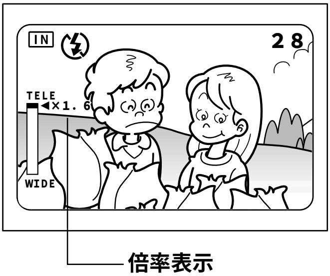


液晶モニターにズームバーが表示されます。被写体の大きさを調節してください。



■デジタルズーム機能について

撮影モードが（静止画）で画質モードが 640 の場合、最も望遠側（TELE 端）またはマクロモード（表示）のとき、さらにズームレバーを[T]側に押し続けると、デジタルズームが働いて 1.3 倍、1.6 倍、3.2 倍に拡大して撮影できます。
デジタルズームを解除するときは、[W]側にズームレバーを戻します。



補足
- デジタルズームは、画質モードが 640 のときに使用できます。次の場合は使用できません。
  撮影モードが（音声）、（文字）、（連写）、（動画）のとき
  非圧縮モード（NC）、PRO モード（PRO・PRO-L・PRO-H）のとき
  液晶モニターが閉じているとき
- デジタルズームのときは、液晶モニターで構図を決めて撮影してください。

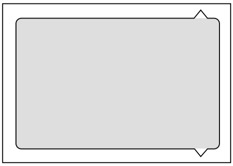
被写体の位置を確認する

ファインダーや液晶モニターを見ながら被写体の位置を確認します。

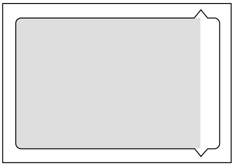
■ファインダーの見かた

ファインダーをのぞいて被写体をとらえます。

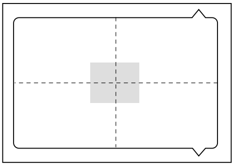
●撮影範囲枠
撮影したいものをファインダーの中におさめてください。



●近距離補正枠
被写体までの距離が約24cm以内の場合、撮影したいものをこの範囲におさめてください。



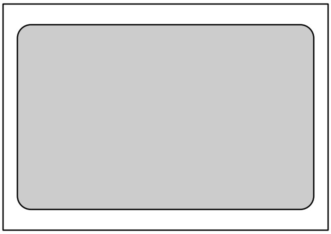
●オートフォーカス範囲
ピント合わせが行われる範囲です。
ファインダーの中央部にあり、おおよそ図のような範囲です。



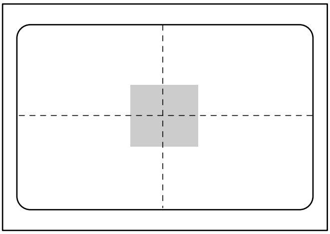
■液晶モニターの見かた

液晶モニターを見ながら被写体をとらえます。

●撮影範囲枠
撮影したいものを液晶モニターの中におさめてください。



●オートフォーカス範囲
ピント合わせが行われる範囲です。
液晶モニターの中央部にあり、おおよそ図のような範囲です。

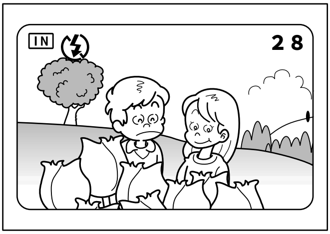


補足 ・説明のためファインダーや液晶モニター内を点線とアミかけで表現しています。実際には、点線やアミかけの表示はありません。

撮影する（静止画モード）

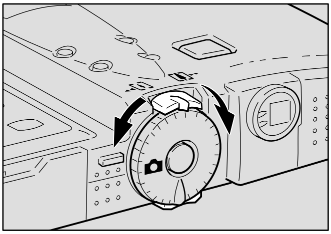
ここでは、静止画モードの撮影方法を説明します。カメラが動かないように正しく構えてください。

❶ 撮影したいものにカメラを向けます。



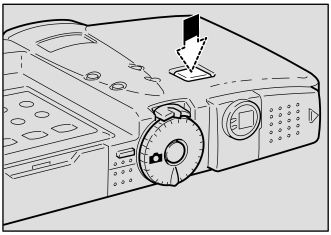
補足 ・被写体までの距離が約24cmより近いときは、マクロ撮影してください。→P.58「至近距離で撮影する（マクロ撮影）」

❷ ズームレバーを操作して、被写体の大きさを決めます。

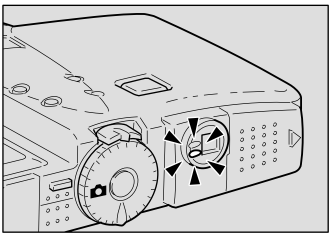


参照 ・P.42「被写体の大きさを決める（ズーム）」
・P.43「被写体の位置を確認する」

❸ 指の腹でシャッターボタンを軽く押します。



シャッターボタンは2段階になっています。軽く押すと（半押し状態）、オートフォーカスが作動し、ピント合わせが行われます。手ブレがおきないようしっかりと固定してください。

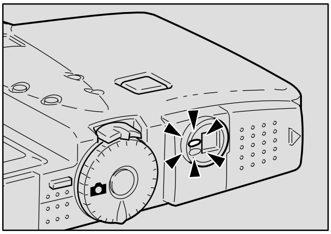


被写体にピントが合うとオートフォーカスランプ（緑）が点灯し、ピント、露出、ホワイトバランスが固定されます。

補足 ・オートフォーカスランプが点滅したときはピントが合いません。フォーカスロックで撮影してください。→P.59「フォーカスロックで撮影する」
・「スローシャッター」と表示されたときは、手ブレすることが多いので、フラッシュ発光することをお勧めします。→P.51「フラッシュモードを変更する」

●フラッシュランプ

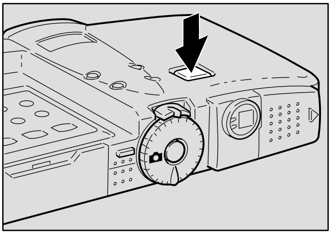
フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを軽く押したときにフラッシュランプ（赤）が点灯します。



補足 ・フラッシュ充電中はフラッシュランプが点滅し、液晶モニターの表示が消えます。このときは撮影できません。

❹ そのまま指を離さずに、シャッターボタンを静かに押しきります。

「ピッ」というブザー音が鳴り、撮影画像が表示され、記録されます。



補足 ・「ピッ」というブザー音が鳴る前にカメラを動かすと、手ブレすることがあります。

・音声付きで撮影できます。→P.50「音声付きで静止画/文字を撮影する」

記録を中止するとき

シャッターボタンを押し切ると撮影され、撮影画像が液晶モニターに表示されます。このとき、🗑ボタンを押し、確認のメッセージが表示されたらシャッターボタンを押します。



撮影画像の表示時間は、任意に設定できます。→P.96「画像確認時間を変更する」

重要

・記録中は、電池ぶたやカードカバーを開けたり、ACアダプターを取り外さないでください。

・撮影画像の記録中は、オートフォーカスランプや記録先（CARD・IN）が点滅します。記録が終了するまで、モードダイヤルを回したり、電源を切ったりしないでください。
なお、撮影画像の記録中は、CARD/INボタンの切り替えや、MENUボタンを押してメニュー画面を表示することはできません。

コラム

長時間ご使用になる場合

カメラの電源がオンのとき、設定された時間カメラの操作（ボタンやスイッチの操作）をしないと、「オートパワーオフ」が働き、電源が切れます。撮影するまでに時間がかかる場合は、オートパワーオフが働かないように設定してください。また、長時間使用するときは、予備のバッテリーまたはACアダプター（別売り）を用意してください。→P.96「オートパワーオフの設定を変更する」

■ピントの合いにくい被写体

次のような被写体は、ピントが合わせられないことがあります。

・コントラストのないもの（空、白壁、自動車のボンネットなど）
・横線だけで、凹凸もないもの
・動きの速いもの
・低輝度（暗いところ）のもの
・強い逆光および反射光があるもの
・蛍光灯などのちらつきのあるもの

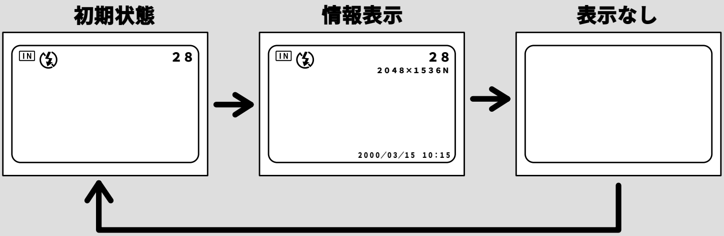
このような被写体を撮影するときは、写したい被写体と同じ距離にある違う被写体にピントを固定してから撮影してください。→P.59「フォーカスロックで撮影する」、P.60「マニュアルフォーカスで撮影する」

コラム

画面表示機能について

DISPLAY ボタンを押すたびに、記録モード、画質モード、記録残枚数など、撮影時の情報表示を切り替えることができます。

●静止画モードのとき



＊音声モードや動画モードの場合、初期状態や情報表示時に 、 、撮影可能時間が表示されます。

いろいろな撮影機能

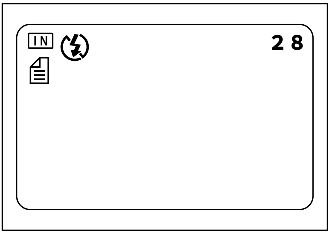
ここでは、いろいろな撮影機能について説明します。撮影モードによって利用できる機能が異なります。下表を参考にしてください。

撮影機能 ＼ 撮影モード		静止画	音声	文字	連写	動画
音声付き撮影	P.50	○	×	○	×	×
フォーカス	P.60	○	×	○	○	○
フラッシュ光量	P.53	○	×	○	×	×
赤目モード	P.61	○	×	×	×	×
ISO感度設定	P.62	○	×	○	○	×
日付入れ撮影	P.62	○	×	○	○	×
ソフトモード	P.63	○	×	×	○	×
モノトーンモード	P.64	○	×	×	○	○
インターバル	P.65	○	×	○	×	×
オートブラケット	P.66	○	×	×	×	×
非圧縮	P.67	○	×	×	×	×
PRO	P.68	○	×	○	×	×
長時間露光	P.69	○	×	×	×	×

文字を撮影する（文字モード）

文字を記録します。文字などの記録に適した処理を行い、読みやすいように黒と白の２つの値だけで記録します（通常の1/3以下のデータ量で記録できます）。

❶ **モードダイヤルを［ ］に合わせます。**



❷ **シャッターボタンを押して撮影します。**

撮影画像が表示された後、記録されます。

補足
・撮影画像が液晶モニターに表示されているとき、ボタンを押すと記録を中止できます。→P.45「撮影する（静止画モード）」
・音声付きで撮影できます。→P.50「音声付きで静止画 / 文字を撮影する」

音声を記録する（音声モード）

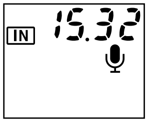
音声を記録します。記録先の残り容量に応じて、録音できる時間を表示します。

重要

・マイクは、カメラ前面にあります。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

❶ **モードダイヤルを［ ］に合わせます。**

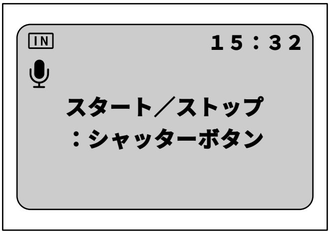
液晶モニターや液晶パネルに、録音可能な時間が表示されます。



❷ **シャッターボタンを押して録音します。**

録音が開始されます。録音中は が点滅し、液晶パネルに録音時間が表示されます。

再度シャッターボタンを押すと、録音を中止できます。



補足

・録音/録音可能時間が100分を越える場合、液晶モニターと液晶パネルには、秒の1桁目は表示されません。

連続して撮影する（連写モード）

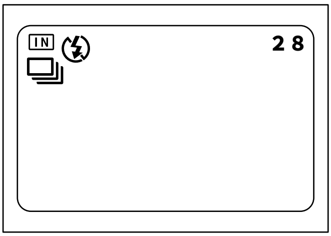
シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。シャッターチャンスを逃がすことなく撮影したいときに便利です。

❶ **モードダイヤルを［ ］に合わせます。**

❷ **シャッターボタンを押して撮影します。**

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。

シャッターボタンから指を離すと連続撮影は停止します。



補足

・連写モードでは、フラッシュは発光しません。

・シャッターボタンを押したときの状態で、フォーカスや露出補正、ホワイトバランスが固定されます。

・ファイル名がRIMG9999になった場合は、連写モードでは撮影できません。記録先のスマートメディアまたは内蔵メモリーをフォーマットしてから撮影してください。

重要

- 撮影中、液晶モニターに撮影画像は表示されません。
- 記録中は、電池ぶたやカードカバーを開けたり、ACアダプターを取り外さないでください。
- 撮影画像の記録中は、オートフォーカスランプや記録先（CARD・IN）が点滅します。記録が終了するまで、モードダイヤルを回したり、電源を切ったりしないでください。
  なお、撮影画像の記録中は、CARD/INボタンの切り替えや、MENUボタンを押してメニュー画面を表示することはできません。

●連続撮影できる最大枚数

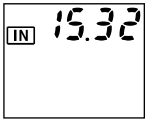
画質モードによって、連続撮影できる最大枚数は次のようになります。

画質（圧縮率） / サイズ（画素数）	F ファイン	N ノーマル	E エコノミー
2048 2048×1536	約　5枚	約 12枚	約 24枚
1024 1024×768	約 17枚	約 36枚	約　70枚
640 640×480	約 46枚	約 89枚	約 164枚

＊１回に連続して撮影できる最大枚数です。スマートメディアや内蔵メモリーの撮影可能枚数によって、続けて撮影できます。

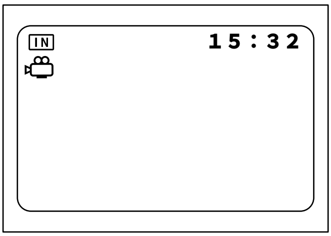
動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。記録先の残り容量に応じて、撮影できる時間が表示され、音声も同時に記録されます。



❶ モードダイヤルを［ ］に合わせます。

液晶モニターや液晶パネルに、撮影可能な時間が表示されます。



❷ シャッターボタンを押して撮影します。

撮影が開始されます。撮影中は が点滅し、液晶パネルに撮影時間が表示されます。

再度シャッターボタンを押すと、撮影を中止できます。

補足

- 動画モードでは、ズームは作動しません。
- 動画モードでは、フラッシュは発光しません。
- シャッターボタンを軽く押したときの状態で、フォーカスや露出、ホワイトバランスが固定されます。

音声付き静止画 / 文字を撮影する

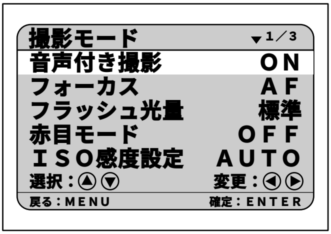
静止画または文字と音声を10秒記録します。撮影状況やコメントを添えるときに利用します。

重要

・マイクは、カメラ前面にあります。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

❶ **モードダイヤルを［ ］または［ ］に合わせ、MENUボタンを押します。**

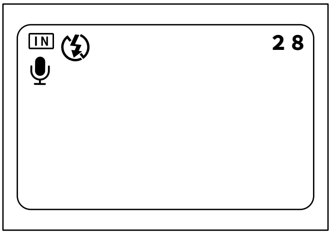
❷ **Ⓐボタン・Ⓥボタンを押して［音声付き撮影］を選びます。**



❸ **◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTERボタンを押します。**

❹ **シャッターボタンを押して撮影します。**

撮影画像が表示されたあと、音声が10秒記録されます。音声記録中は が点滅します。



補足

・シャッターボタンを押したときの状態で、フォーカスや露出、ホワイトバランスが固定されます。
・ （静止画）で非圧縮モード（NC）やPROモード（PRO・PRO-L・PRO-H）のとき、または （文字）のときは、撮影後に音声の記録を開始します。このとき、音声記録中の表示は、液晶パネルの の点滅でご確認ください。

フラッシュモードを変更する

このカメラでは、４種類のフラッシュモードがあります。撮影状況に合わせてモードを切り替えてお使いください。

- **(発光禁止)**：暗いところでもフラッシュは発光しません。フラッシュ撮影が禁止されているときや、室内の照明を利用して撮影するときに使用します。
- **(オート)**：暗い場所や逆光のときに、自動的にフラッシュを発光します。
- **点灯（強制発光）**：逆光や強い光の下で人物を撮影すると、顔に強い影ができることがあります。このような影をやわらげたいときに使用します。明るさに関係なく、常にフラッシュが発光します。
- **点滅（スローシンクロ）**：フラッシュを発光して撮影する際、被写体にフラッシュの光があたり、背景も遅いシャッタースピードで撮影できます。室内パーティーなど、背景の雰囲気を活かして被写体をきれいに撮影したいときに使用すると、フラッシュを発光させたときに、背景だけが暗くなるのを軽減します。

＊初期設定は、（発光禁止）です。

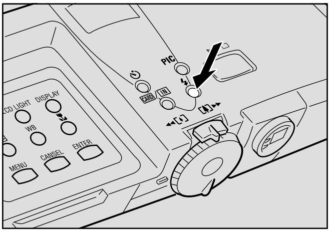
フラッシュの光が届く距離

フラッシュを発光させて撮影する場合、撮影距離は約0.6～2.5mです。被写体にフラッシュの光が届かないと、被写体が暗く撮影されます。

❶ モードダイヤルを［ ］または［ ］に合わせます。

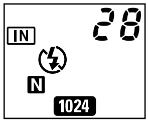
❷ ボタンを押して、フラッシュモード（・・ 点灯・ 点滅）を選びます。

ボタンを押すごとにフラッシュモードが切り替わります。



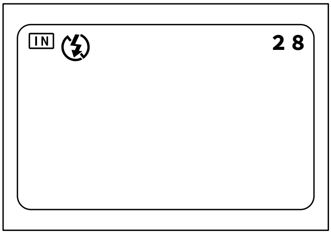
2
撮影

選択したフラッシュモードが表示されます。
オートモードの場合は、液晶モニターにのみ⚡A
が表示され、液晶パネルには表示されません。



❸ **シャッターボタンを押して撮影します。**

フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを軽く押したときにフラッシュランプ（赤）が点灯します。
フラッシュ充電中はフラッシュランプが点滅し、液晶モニターの表示が消えます。このときは撮影できません。



重要

・近い被写体（約0.6m以下）をフラッシュ撮影すると、フラッシュの光が赤く写ることがあります。また、露出オーバーになるため、被写体が白っぽく撮影されることがあります。このようなときは、発光禁止モードで撮影してください。
・暗いところでは自動的にシャッタースピードが遅くなります。カメラブレが起きないようにしっかり構えるか、三脚を使用して撮影してください。特に望遠側（[♠]）では、カメラブレにご注意ください。

補足

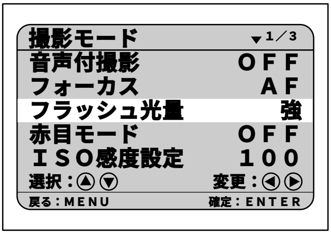
・次の場合、フラッシュは発光しません。
撮影モードが🎤（音声）、▭（連写）、🎥（動画）のとき
ホワイトバランスが☀（屋外）、☁（曇天）、☼（白熱灯）、⩩（蛍光灯）のとき
マクロモード（🌷）のとき
オートブラケット撮影時
・フラッシュモードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。→P.95「カメラの設定内容を記憶する」
・フラッシュを利用して撮影するとき、液晶モニターが暗く見える場合は、広角側で撮影してください。望遠側ではピントが合いにくいことがあります。
・赤目モードを利用すると、赤目を軽減して撮影できます。→P.61「赤目モードで撮影する」

■フラッシュの光量を調整する

フラッシュが発光するとき（⚡A・⚡点灯・⚡点滅）、フラッシュの光量を調整して撮影ができます。

❶ モードダイヤルを［📷］または［　］に合わせ、MENU ボタンを押します。

❷ Ⓐボタン・Ⓥボタンを押して［フラッシュ光量］を選びます。

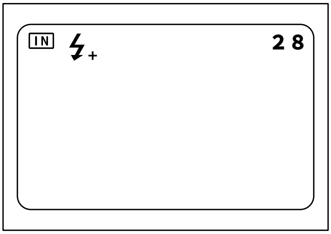


❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して光量（標準・強・弱）を選び、ENTER ボタンを押します。

❹ MENU ボタンを押します。

液晶モニターには、強のときは＋、弱のときは－が表示されます。標準のときは表示はありません。

❺ シャッターボタンを押して撮影します。



補足 ・フラッシュ光量の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。→P.95「カメラの設定内容を記憶する」

2 撮影

露出を補正する

通常、撮影範囲の中央に被写体があると自動で逆光補正を行うので、このまま撮影することができます。しかし、背景と被写体との間に極端な明暗差がある場合、被写体の露出がアンダー（暗い）やオーバー（白っぽい）になってしまいます。このようなときに露出補正をします。また、意図的に露出アンダーやオーバーな撮影をしたいときにも使用できます。

●露出補正の範囲

±2.0EV（0.5EV ステップで設定）

●逆光撮影の場合

背景が非常に明るい場合など、被写体は露出アンダーになります。このようなときは＋側に数値を増やして補正します。

重要

・逆光のとき、撮影範囲の中央に被写体がないときには、カメラは逆光状態と判断しません。露出補正をしてください。

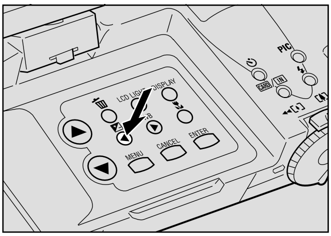
●白っぽい画面を写す場合

全体に白っぽい画面を写すときは、全体的に露出アンダーになり、人物などは暗く、白いものはグレーのように写ります。このようなときは＋側に数値を増やして補正します。

●黒っぽい画面を写す場合

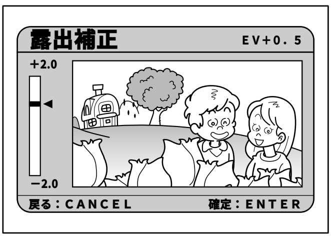
全体に黒っぽい画面を写すときは、全体的に露出オーバーになり、人物などは白く、黒いものはグレーのように写ります。このようなときは－側に数値を増やして補正します。スポットライトが当たった人物を写すときなども同様です。

❶ モードダイヤルを［📷・📄・❏・🎥］のいずれかに合わせ、±ボタンを押します。

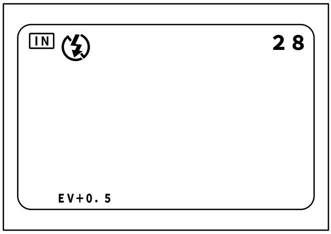


❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して補正値を変更し、ENTER ボタンを押します。

▲ボタンを押すと数値が進み、▼ボタンを押すと数値が戻ります。ボタンを押し続けると連続して動きます。



❸ **シャッターボタンを押して撮影します。**



補足 ・露出補正の設定内容を保持するときは、モード保持を設定してください。→ P.95「カメラの設定内容を記憶する」
・設定した補正値を基準に -0.5EV、0、+0.5EV の補正値で、連続して 3 コマ撮影できます。設定した補正値の確認に便利です。→P.66「オートブラケット撮影のしかた」

ホワイトバランスを変更する

ホワイトバランスモードは、どんな光源の下でも自然の色合いで撮影できるようホワイトバランスを調整する機能です。通常はオートモードで撮影します。
オートモードのときは、どんな光源の下でも白いものを白く撮影するよう、白色系の部分を基準にホワイトバランスを自動的に調整しています。そのため、被写体に白色系の部分が少ない場合や暗い場合は、ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときに、ホワイトバランスモードを変更して撮影してください。

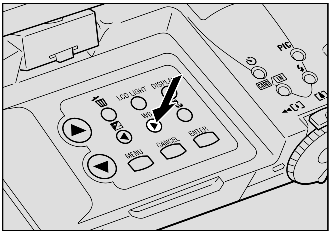
- **AUTO(オート)**：カメラにまかせて自動で調整します。
- **(屋外)**：屋外の撮影で、ホワイトバランスが合いにくいときに使用します。
- **(曇天)**：曇天や日陰などの撮影で、ホワイトバランスが合いにくいときに使用します。
- **(白熱灯)**：白熱灯下の撮影で、ホワイトバランスが合いにくいときに使用します。
- **(蛍光灯)**：蛍光灯下の撮影で、ホワイトバランスが合いにくいとき使用します。

＊初期設定は、オートモードです。

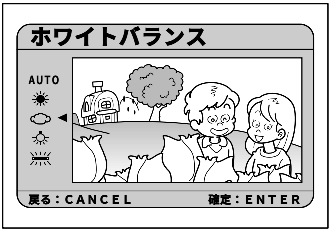
オートホワイトバランスの苦手な被写体

・単一色な被写体
・複数の光源のある被写体

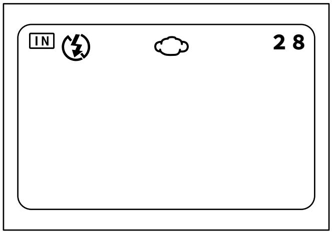
❶ **モードダイヤルを［📷・▭・🎥］のいずれかに合わせ、WBボタンを押します。**



❷ **Ⓐボタン・Ⓥボタンを押してホワイトバランス（AUTO・☀・☁・💡・蛍）を選び、ENTERボタンを押します。**



❸ **シャッターボタンを押して撮影します。**



重要

・同じ被写体を撮影しても、天候や光源（白熱灯や蛍光灯）の種類により色の度合いが異なります。

補足

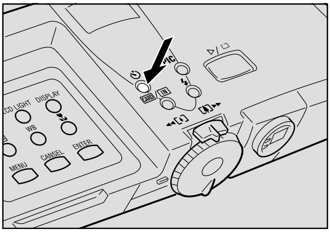
・オートモードの場合、被写体に白色系の部分が少ないと、ホワイトバランスが合わないことがあります。このようなときは、被写体に白色系のものを入れて撮影してください。
・☀（屋外）、☁（曇天）、💡（白熱灯）、蛍（蛍光灯）のときは、フラッシュは発光しません。
・ホワイトバランスの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。→ P.95「カメラの設定内容を記憶する」

セルフタイマーを使って撮影する

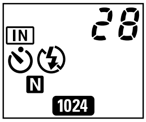
撮影者自身も入った記念撮影などを行うときにセルフタイマーを使用すると便利です。カメラを三脚や水平な台の上に固定して撮影してください。

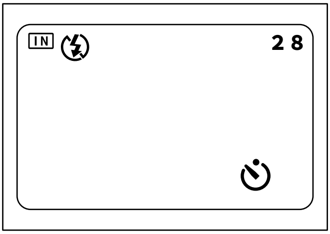
❶ モードダイヤルを［📷］または［🗎］に合わせ、⏲ボタンを押します。

セルフタイマーが設定されます。



液晶モニターや液晶パネルに⏲マークが表示されます。

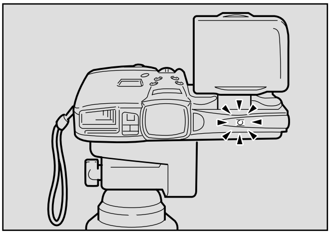




補足 ・再度⏲ボタンを押すか、モードダイヤルを回したとき、または電源をオフにすると、セルフタイマーを中止できます。

❷ 構図を決め、カメラを固定したら、シャッターボタンを押します。

セルフタイマーランプが点灯し、セルフタイマーがスタートします。約10秒後にシャッターが切れます。シャッターが切れる約2秒前からセルフタイマーランプが点滅に変わり、「ピピピピッ」というブザー音が鳴ります。シャッターが切れると、モードが解除されます。



補足 ・フラッシュが充電中のときは、充電が完了してからセルフタイマー撮影を開始します。
・シャッターボタンを押した時点でピントは固定されます。

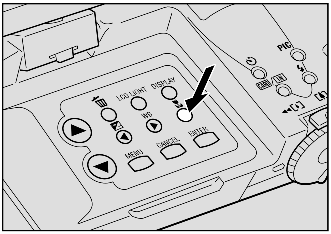
コラム **遠距離操作について**

離れた位置や固定した位置にカメラを設置してお使いになるときは、リモートコントローラー（別売り）と組み合わせてお使いください。

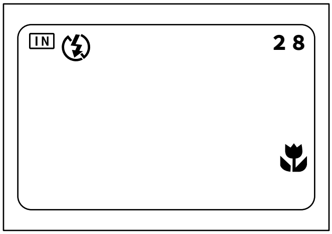
至近距離で撮影する（マクロ撮影）

被写体に近づいてクローズアップで撮影することをマクロ撮影といいます。被写体までの距離が約24cmより近いときはマクロ撮影してください。

❶モードダイヤルを［📷・🗎・❐ 🎥］のいずれかに合わせ、🌷ボタンを押します。



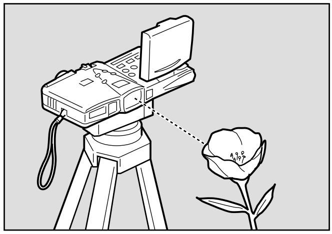
液晶モニターに🌷マークが表示されます。



補足 ・再度🌷ボタンを押すか、モードダイヤルを回したとき、または電源をオフにすると、マクロ撮影を中止できます。

❷被写体に近づいて構図を決め、シャッターボタンを軽く押してピントを合わせます。

❸シャッターボタンを押して撮影します。



重要
・マクロ撮影ではピント合わせの範囲がせまいため、カメラが動くとピントが外れることがあります。カメラが動かないように、三脚などでしっかりとカメラを固定して撮影してください。
・ファインダーでの視野と撮影される範囲が大きくずれますので、液晶モニターまたはカメラをテレビに接続して、撮影範囲を確認しながら撮影してください。

コラム
シャッターボタンについて
三脚などでカメラを固定したためシャッターボタンが押しにくいときは、リモートコントローラー（別売り）を使用すると便利です。

補足 ・マクロモードのときは、フラッシュは発光しません。

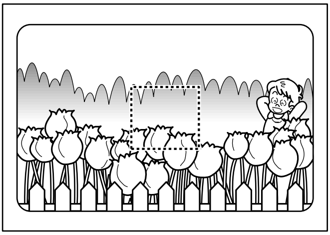
フォーカスロックで撮影する

通常は、ファインダーや液晶モニターのオートフォーカス範囲に見える被写体にピントが合います。ピントを合わせたい被写体がこの条件に合わない場合、その被写体にはピントが合わずボケてしまうことがあります。写したいものに確実にピントを合わせたいときは、フォーカスロックで撮影します。

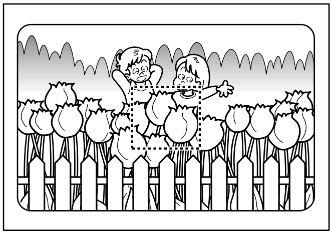
参照 ・P.43「被写体の位置を確認する」

■このようなときにお使いください

ピントを合わせたい被写体が、オートフォーカス範囲にないときは、背景にピントが合い、人物はボケてしまいます。



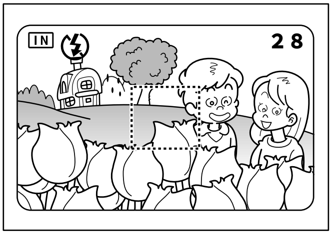
ピントを合わせたい被写体以外のものが、オートフォーカス範囲のほとんどを占めるときは、花にピントが合い、人物はボケてしまいます。



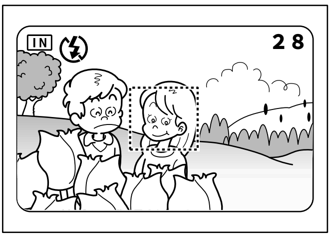
■撮影のしかた

❶ ズームレバーを押して、被写体の大きさを決めます。

参照 ・P.42「被写体の大きさを決める（ズーム）」



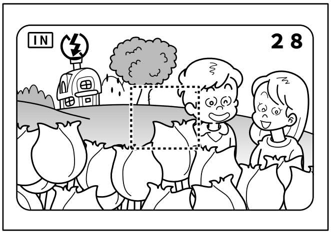
❷ ピントを合わせたい被写体に、オートフォーカス範囲を合わせます。



❸ シャッターボタンを軽く押して、指をその位置で止めます。

この時点でピントが固定され、オートフォーカスランプ（緑）が点灯します。

❹ **指を止めたままカメラを動かして構図を決め、シャッターボタンを静かに押しきります。**



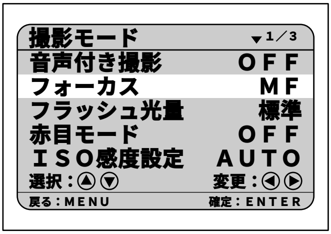
補足 ・手動でピントを合わせながら撮影できます（マニュアルフォーカス撮影）。→ P.60「マニュアルフォーカスで撮影する」

マニュアルフォーカスで撮影する

被写体にピントが合わないとき、手動でピントを合わせながら撮影できます。

❶ **モードダイヤルを［・・・］のいずれかに合わせ、MENUボタンを押します。**

❷ **▲ボタン・▼ボタンを押して［フォーカス］を選びます。**



❸ **◀ボタン・▶ボタンを押して［MF］を選び、ENTERボタンを押します。**

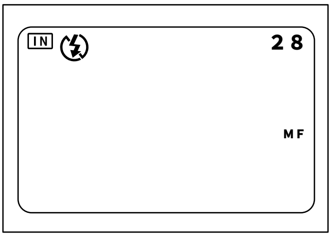
補足 ・［AF］を選択するか電源をオフにすると、マニュアルフォーカスを解除できます。

❹ **MENUボタンを押します。**

液晶モニターにMFが表示されます。

❺ **▲ボタン・▼ボタンを押してピントを合わせ、シャッターボタンを押して撮影します。**

被写体の大きさを変えるときは、ズームレバーを押します。



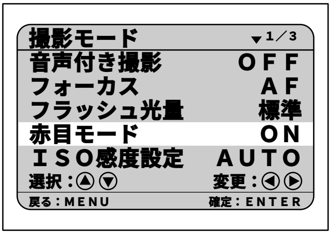
補足 ・フォーカスモードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。→ P.95「カメラの設定内容を記憶する」

赤目モードで撮影する

暗いところでフラッシュが発光したとき、目が赤く写ることがあります。この現象を「赤目」といいます。赤目を軽減したいときに、このモードを使用します。シャッターが切れる前にフラッシュが数回発光し、これにより赤目が軽減されます。

❶ モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENU ボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［赤目モード］を選びます。



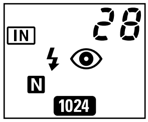
❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTER ボタンを押します。

❹ MENU ボタンを押します。

液晶パネルや液晶モニターに👁マークが表示されます。

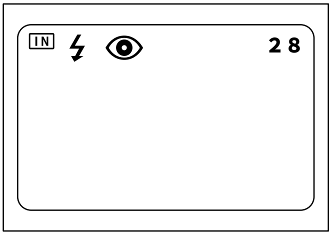
❺ シャッターボタンを押して撮影します。

シャッターボタンを押すと、フラッシュが数回連続して予備発光したあと、本発光してシャッターが切れます。



重要

・シャッターボタンを押してからシャッターが切れるまで、約1秒かかります。カメラをしっかりと構えて撮影してください。



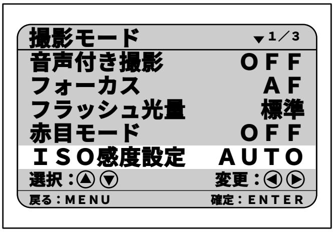
補足 ・フラッシュモードが⚡̸（発光禁止）のときは利用できません。

撮影感度を変更する

撮影感度を切り替えて撮影できます。

❶ モードダイヤルを［ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENUボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［ISO感度設定］を選びます。

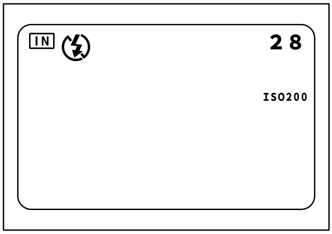


❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して撮影感度（AUTO・200・400）を選び、ENTERボタンを押します。

❹ MENUボタンを押します。

液晶モニターに撮影感度が表示されます。撮影感度がAUTOのときは表示されません。

❺ シャッターボタンを押して撮影します。



補足 ・撮影感度の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。→P.95「カメラの設定内容を記憶する」

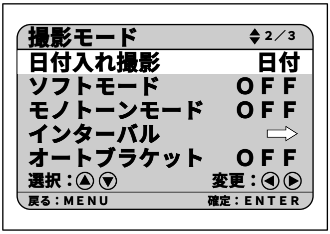
日付を入れて撮影する

日付を入れて撮影するときに使用します。

補足 ・設定メニューで日付を設定していない場合は、機能しません。日付を設定してください。また、日付の表示形式は、日付設定で選択した表示形式になります。→P.32「日付・時刻を合わせる」

❶ モードダイヤルを［ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENUボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［日付入れ撮影］を選びます。

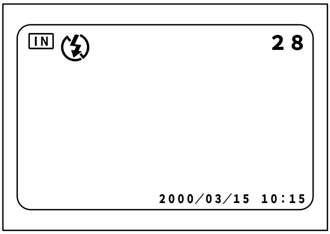


❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して日付の種類（日付・日時）を選び、ENTER ボタンを押します。

❹ MENU ボタンを押します。

日付のときは年 / 月 / 日（2000/03/15）、日時のときは年/月/日 時 : 分（2000/03/15 10 : 15）が表示されます。

❺ シャッターボタンを押して撮影します。



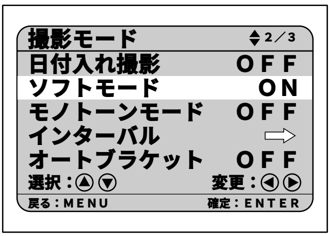
補足 ・日付入れ撮影の設定を保持するときは、モード保持を設定してください。→ P.95「カメラの設定内容を記憶する」

ソフトモードで撮影する

人物の顔や空、壁などの平面的な撮影で、輪郭をなめらかにして撮影します。

❶ モードダイヤルを［ 📷 ］に合わせ、MENU ボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［ソフトモード］を選びます。

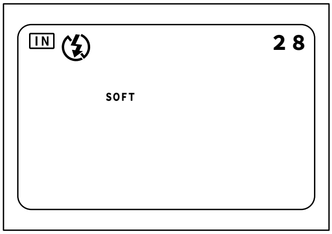


❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTER ボタンを押します。

❹ MENU ボタンを押します。

液晶モニターに SOFT が表示されます。

❺ シャッターボタンを押して撮影します。



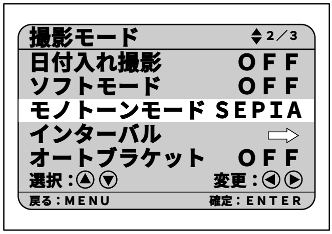
補足 ・ソフトモードの設定を保持するときは、モード保持を設定してください。→P.95「カメラの設定内容を記憶する」

モノトーンモードで撮影する

モノクロまたはセピアで撮影します。

❶ モードダイヤルを［ ・ ・ ］のいずれかに合わせ、MENUボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［モノトーンモード］を選びます。

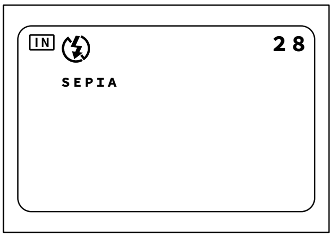


❸ ◀ボタン・▶ボタンを押してモノトーンモード（B&W・SEPIA）を選び、ENTERボタンを押します。

モノクロで撮影するときは［B&W］、セピアで撮影するときは［SEPIA］を選びます。

❹ MENU ボタンを押します。

❺ シャッターボタンを押して撮影します。



補足 ・モノトーンモードを選択すると、ホワイトバランスモードは機能しません。

インターバル撮影のしかた

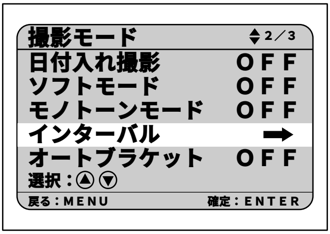
設定した時間間隔で自動的に撮影します。時間間隔は30秒～3時間00分00秒の範囲で、30秒間隔で設定します。
例えば、時間間隔を1時間に設定すると、1時間ごとにシャッターが切れ、記録先の内蔵メモリーまたはスマートメディアの容量がなくなるまで連続して撮影します。

重要

・インターバル撮影を行う際、スマートメディアや内蔵メモリーの撮影可能枚数を確認してから設定してください。
・インターバル撮影開始後、24時間でオートパワーオフが働きます（ACアダプター使用時も同様）。

❶ モードダイヤルを［📷］または［🗐］に合わせ、MENUボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［インターバル］を選び、ENTERボタンを押します。



❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して、設定したい部分を反転させます。



❹ ▲ボタン・▼ボタンを押して、反転している数字を変更します。

▲ボタンを押すと数字が進み、▼ボタンを押すと数字が戻ります。ボタンを押し続けると早く動きます。
手順❸、❹の操作を繰り返して、必要な部分を設定します。30秒間隔で設定できます。

❺ 秒を合わせたあと、ENTERボタンを押します。

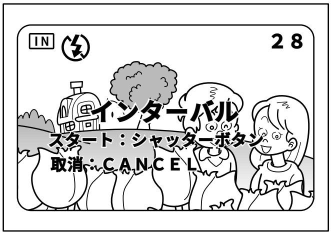
インターバルタイマーが設定されます。

補足

・「インターバル」の文字が点灯しているときは、モードダイヤルを回すか電源をオフにすると、インターバル撮影を中止できます。

❻ シャッターボタンを押します。

最初の１枚が撮影され、これ以降、設定した時間間隔で撮影されます。
インターバル撮影中は、「インターバル」の文字が点滅します。内蔵メモリーまたはスマートメディアの容量がなくなると、撮影を終了します。



補足
- インターバル撮影中でも、シャッターボタンを押すと通常の撮影ができます。設定した時間間隔はずれません。
- 画質モードやフラッシュモードの設定によっては、設定した時間より撮影間隔が長くなる場合があります。
- バッテリーを使用した撮影では、インターバル撮影の途中でバッテリー切れになってしまうことがあります。ACアダプター（別売り）を使用して撮影してください。

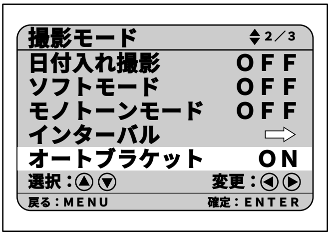
オートブラケット撮影のしかた

「露出を補正する（P.54）」で設定した補正値を基準に、-0.5EV、0、+0.5EVの補正値で３コマ連続して撮影します。露出補正の確認に便利です。
手ブレしないようカメラを三脚や水平な台の上に固定して撮影してください。

❶ モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENUボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［オートブラケット］を選びます。

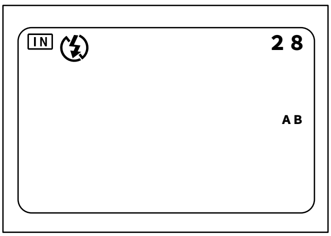
❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTERボタンを押します。



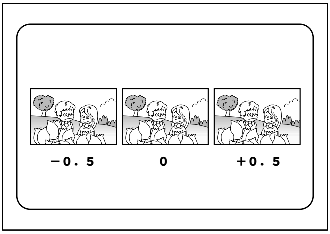
❹ MENUボタンを押します。

液晶モニターにABが表示されます。

❺ シャッターボタンを押して撮影します。



シャッターボタンを押すと、設定された露出補正値を基準に、-0.5EV、0、+0.5EVで3コマ連続撮影されます。



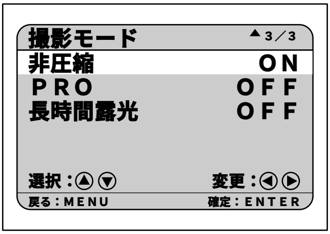
補足
・画質モードが非圧縮モード（NC)、PROモード（PRO・PRO-L・PRO-H）のとき、または［音声付撮影］が［ON］の場合、オートブラケット撮影は利用できません。
・オートブラケット撮影では、フラッシュは発光しません。

非圧縮モードで撮影する

通常の画質モードは、記録の際にデータを圧縮しています。データを圧縮しないで記録するときは、非圧縮（NC）をオンにして撮影します。

❶ モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENUボタンを押します。

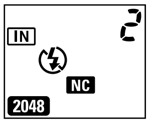
❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［非圧縮］を選びます。



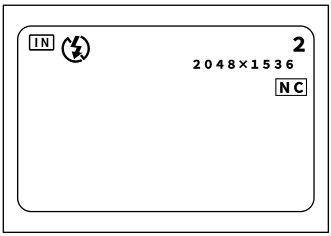
❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して［ON］を選び、ENTERボタンを押します。

❹ MENUボタンを押します。

液晶モニターや液晶パネルにNCが表示されます。



❺ シャッターボタンを押して撮影します。



●データの目安

画質（圧縮率）／サイズ（画素数）		NC
2048	2048×1536	約　6MB/画面
1024	1024×768	約 1.5MB/画面
640	640×480	約640KB/画面

PRO モードで撮影する

PRO モードは、より高画質で撮影するときに使用します。

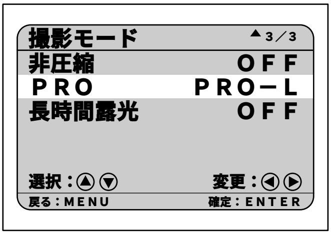
- **PRO**　：画素数が 3072 × 2304 サイズで撮影できます。
- **PRO-L** ：データ量は通常のままで、くっきりとした解像度の良い画像が記録できます。
- **PRO-H** ：画素数が 3072 × 2304 サイズで、解像度の良い画像が記録できます。

重要

・PRO モードが PRO-L/PRO-H の場合、シャッターボタンを押すと 2 枚撮影されるため、撮影被写体は静物に限定されます。カメラを三脚などで必ず固定して撮影してください。
・データ量が大きい場合や撮影に時間がかかる場合がありますので、メモリーの残量や電池寿命にご注意ください。

❶ モードダイヤルを［ ］または［ ］に合わせ、MENU ボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［PRO］を選びます。

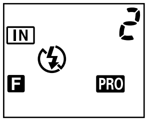


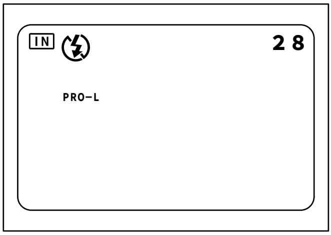
❸ ◀ボタン・▶ボタンを押して PRO モード（PRO・PRO-L・PRO-H）を選び、ENTER ボタンを押します。

❹ MENU ボタンを押します。

液晶モニターや液晶パネルに PRO モードが表示されます。

❺ **シャッターボタンを押して撮影します。**





補足 ・撮影画像が液晶モニターに表示されているとき、🗑ボタンを押すと記録を中止できます。

●データの目安

画質（圧縮率） / モード/サイズ（画素数）	F ファイン	N ノーマル	E エコノミー	NC NC
PRO　（3072×2304）	約2.53MB	約1.26MB	約648KB	約13.5MB
PRO-L　（2048×1536）	約1.12MB	約 568KB	約280KB	約　6MB
PRO-H　（3072×2304）	約2.53MB	約1.26MB	約648KB	約13.5MB

●モード別撮影時間の目安

画質（圧縮率） / モード	Fファイン/Nノーマル/Eエコノミー	NC NC
PRO	約35秒	約90秒
PRO-L	約35秒	約60秒
PRO-H	約70秒	約120秒

長時間露光モードを設定する

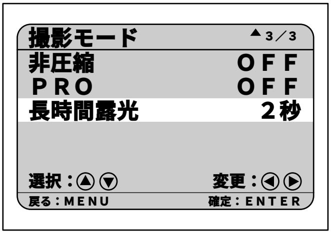
暗い所で、花火や走っている車などの明るい被写体を撮影するとき、長時間露光モードを設定して撮影します。静止画モード（📷）のときにご利用になれます。

重要 ・長時間露光モードでは、カメラを三脚などで固定して撮影してください。

❶ **モードダイヤルを［📷］に合わせ、MENU ボタンを押します。**

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［長時間露光］を選びます。

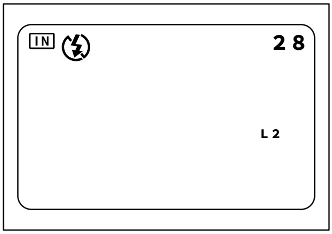
❸ ◀ ボタン・▶ ボタンを押して露光時間（OFF・1秒・2秒・4秒・8秒）を選び、ENTER ボタンを押します。



❹ MENU ボタンを押します。

液晶モニターに長時間露光モードが表示されます。

❺ シャッターボタンを押して撮影します。



補足　・長時間露光モードは、次の場合設定できません。
PRO モード（PRO・PRO-L・PRO-H）
オートブラケット撮影